

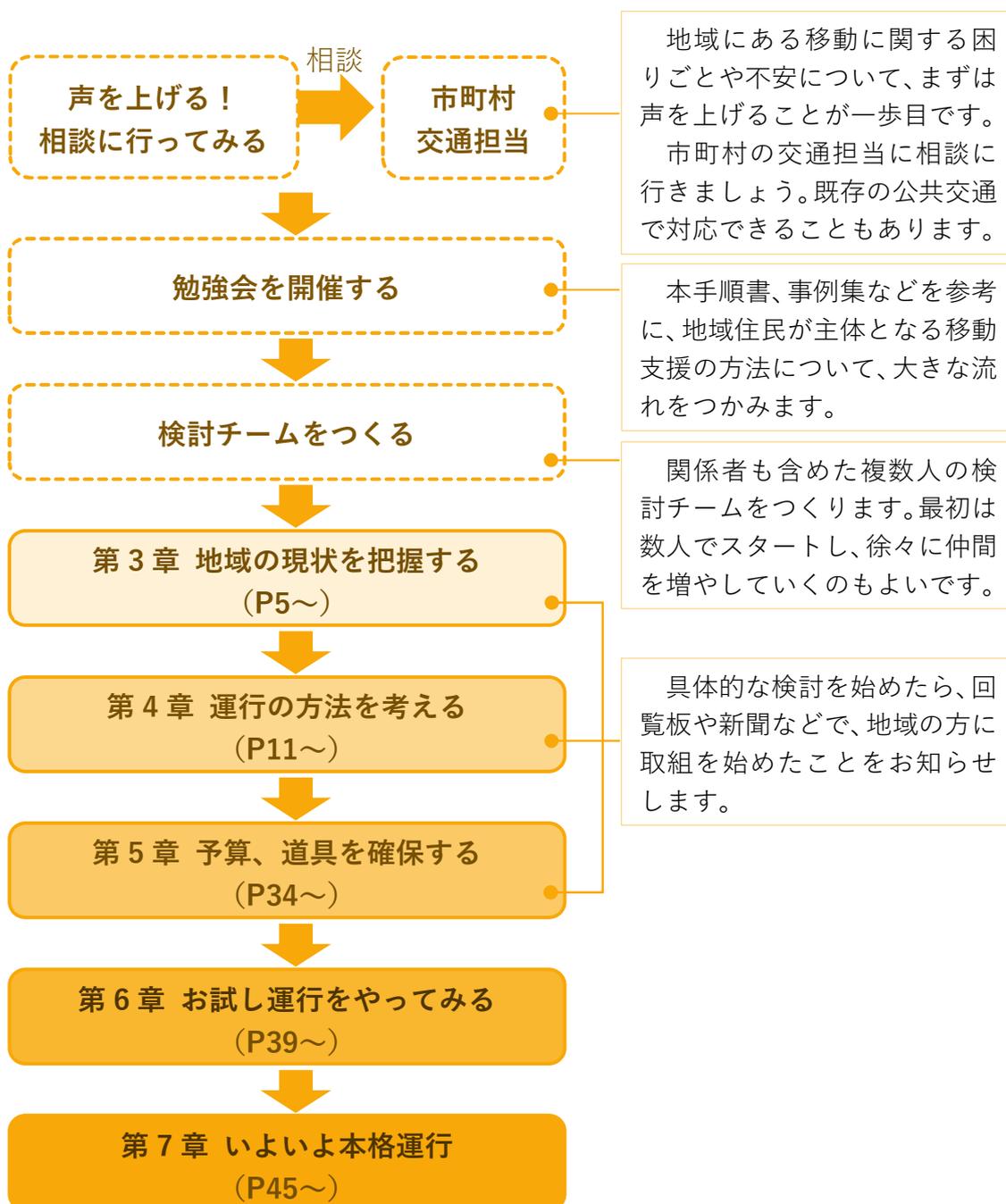
第2章 検討の進め方

2-1 検討の流れ

まずは市町村の交通担当に相談しましょう。既存の公共交通（路線バスやコミュニティバス、乗合タクシー等）の改善で対応できることも多くあります。その上で、どうしても改善が難しい・地域の移動ニーズを満たせないと判断された場合に地域における移動支援を考えましょう。

地域における移動支援の取組導入のきっかけや目的などは地域の状況によって変わってきますが、導入までの大きな流れは以下のようになります。

(1) 全体フロー



(2) 勉強会を開催する

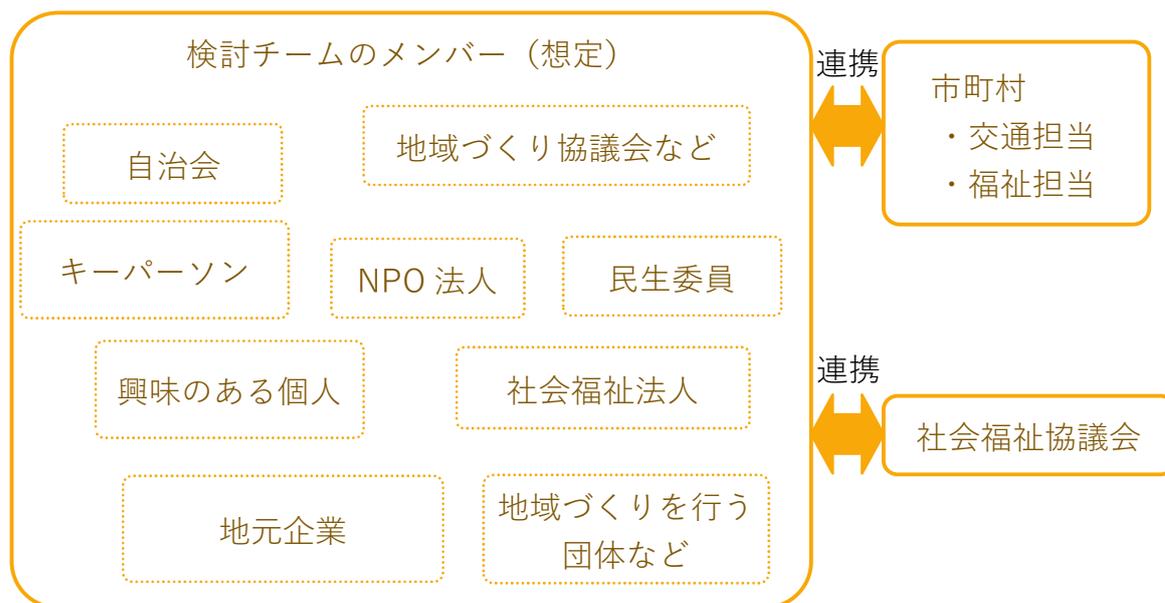
本手順書や第8章(2)県内外の事例(P.56)などを用いて、様々な取組事例を見てみましょう。それにより、自分たちの地域がどのような移動支援を目指すのかイメージしましょう。

(3) 検討チームをつくる

検討を進めるためのチームをつくりましょう。メンバーは、取り組む地域の規模や状況によっても変わってきます。地域の実情にあわせて、中心となって考えるメンバーを決めていきましょう。

市町村の交通担当と福祉担当の両方と連携しながら進めると効果的です。他の地域の取組事例や同様の支援事業、補助金や助成金などの情報も提供してもらいましょう。

社会福祉協議会が買い物支援など同類の事業を行っているケースもあります。



※主で考えるメンバーは最大10名程度がよいでしょう。人数が多くなるようであれば、小グループ(7~8人)に分けて意見をまとめていくなどの工夫をしましょう。

※第8章(2)県内外の事例(P.56)も参考にしてみましょう。